

こんな活動です

～ 地域から学校へ、学校から地域へ～ ふるさとの風土で育む人づくり、まちづくり

栃木県栃木市

活動名

都賀地域アシストネット推進本部事業

関係する学校名

合戦場小学校、家中小学校、赤津小学校、都賀中学校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		0人	4人	926人	無	24年度	有	無	無
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	実施場所		学習支援		放課後児童クラブとの連携				
土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
コミュニティ・スクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数	

体制図



活動の概要・経緯

栃木市では、学校・家庭・地域の連携・協働を組織的に発展させ、より効果的に学校支援や地域の絆づくり等を図る教育システムとして、とちぎ未来アシストネット（以下「アシストネット」という。）を、平成24年4月より、本格的にスタートさせた。

これを受け、都賀地域においても、都賀地域アシストネット推進本部（以下「推進本部」という。）を公民館におき、同時に小・中学校長4名、公民館長、地域コーディネーター4名、地域住民の代表9名、計18名による地域教育協議会を設置、年2回の協議会を開催し、地域のアシストネットに係る事業効果、課題の抽出及び今後の方針について検討を行っている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

核家族化の進行等により、人付き合いが希薄になっている子供を健全に育てていくためには、学校・家庭・地域の連携・協働した環境づくりが必要である。しかし、学校だけでは地域の教育力・教育資源を適切に把握し活かすことは難しく、また、地域も学校教育とどう関わっていくのか手立てが分からないという現状がある。このような中、推進本部を社会教育施設である公民館に置くことで、自治会や育成会等地域で活動する団体が連携・協働して、学校における教育活動の支援に取り組み、地域の一体化につながっている。また、本地域では公民館事業を行う際に、学校、地域コーディネーターと連絡を密に行い、子供たちと地域の大人が交流する事業である都賀満喫ウォーキング、盆踊り、まるつが（祭り）及び夏休みこどもフェスタ等の運営に中学生が地域の大人と一緒に活動している。

【実施に当たっての工夫】

アシストネット活動を周知するため、公民館だよりや各学校だよりなどを活用し、事業の周知を図ると共に新規ボランティアの発掘に取り組んでいる。

「地域から学校へ」「学校から地域へ」の双方向の取組を推進するため、公民館と学校が連携・協働し、事業について学校の掲示板を活用して生徒に周知し、生徒が募集要項をよく理解したうえで応募したり、学校から中学生に地域行事への参画を呼び掛けたりしている。なお、実行委員会会議は午後7時以降に行うため、生徒が出席できるよう保護者に送迎の協力を得るなど、安全管理についても配慮している。

● 事業を実施しての効果・成果

推進本部では、地域の教育力・教育資源を学習支援として積極的に活用し、地域の方と連携・協働で「開かれた学校」づくりのために環境整備を進めている。また、中学生が地域行事に参画する活動を推進し、学校支援の「地域から学校へ」から、双方向の取組となる「学校から地域へ」の活動が進められている。このことが、ふるさとの風土で育む人づくり、まちづくりにつながり、地域ぐるみで子供たちの「生きる力」を育むと共に、地域活動に参加した中学生の、地域の将来を担う新たな人材育成の場となっている。また、双方向の取組により、地域の大人と子供が共に学びあい地域コミュニティの形成に寄与している。



地域行事の試食ブースでピザを提供する都賀中学生



式典のイベントでゆるキャラの誘導をする都賀中学生